

今、小学2年生の担任です

茗花 啓さん



喜多見小中学校出身、「いつか喜多見の子どもたちの教育に携わることができたらと思います」

—— 子どもの頃の思い出は？

「探検するのが好きで、友達とじゃんけんしてどっちに行くか決めるみたいな、目的地を決めず、未開の地に入っていくワクワク感を楽しんでいました。この道とあの道はつながっていたのかと、新たな発見があるのも魅力的でした」

—— どうして小学校の先生になりたいと思ったんですか？

「中学生の時に、小学生の頃の担任の先生と再会しました。卒業してなお、子ども一人一人の内面を見てくれる温かく、大きな先生でした。そんな人間に私もなりたいたいと思い、教師を目指しました」

—— 先生になっていかがですか？

「今は2年生の担任をしています。子どもの成長過程が見られて毎日が楽しいです。日々、子どもと接することで私自身学ぶことが多く、大きなやりがいを感じています。壁に当たったり、失敗することもあります。教師という職業を誇りに思い、生活しています。いつか、私も喜多見の子どもたちの教育に携わることができたらと思います」

二の橋商店街の世田谷通り近く

ら りゆめ



狛・岩戸北4-17-13、電話3430-7897、木休み

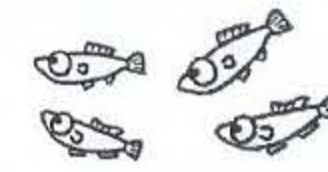
一見園芸店と見間違えそうなずらり植木鉢が並べてあるお店。フランス語で『月』を意味するこの店は実はヨーロッパ特にEU諸国の料理を得意とする洋食屋です。ワインもふんだんに取り揃えてあります。内部空間も大黒柱ならぬ大黒木とでも呼びたいような古木がでんと構え、木が多用されたぬくもりが感じられるものとなっています。

今年で13年目を迎えたこの店のシェフはケーキ店、レストラン、ワインバーなどで経験を積んだマルチシェフ。食材などの安全にこだわり何よりも正直につくることをモットーとしています。それゆえ季節や材料の関係で作れないものも出てくるそうです。常時3種類あるパンもシェフのこだわりのひとつ。「戒めのパン」と呼んでこのパンをつくるために毎日必ず昼の12時には厨房に入るようにして自身を律するものでもあるそうです。

週末はランチ独自のメニューがあり主婦層や女子会の利用も多いそうです。ぜひこの不思議空間でご賞味あれ！

みんなで作る野川その後

今後も見守ります



メダカが復活

10月18日(土)、秋の野川ガサガサを行いました。参加者は大人13・小学生11・幼児12の計36人。深かったり流れが早く危険な場所があるため中野田橋～喜多見大橋の左岸限定です。それでも足元に魚の群れが大量に泳ぎ、収穫はメダカ(オイカワの稚魚も含まれているかもしれませんが)575・シマドジョウ49・エビ654など計15種類1328匹、台風の影響かこのところ激減していたメダカが復活しました。



これから野川へ入ります

工事業者と植物を移植

11月25日(火)と29日(土)、野川の多自然連絡会で、今年度の工事区間(雁追橋付近)にあったヨシやヤナギなどを工事終了区間(中野田橋下流)へ移植しました。25日には工事業者の方も機械を使って手伝ってくださり、次第に大雨になったため、29日にも続きの作業をしました。春になり、中野田橋下流にヨシがたくさん生えて水を浄化してくれることを期待しています。

土砂堆積について相談

昨年度の工事で、喜多見大橋あたりに土砂が堆積し、上流の階段周辺は深く流れが止まったプール状態、淀んで悪臭を放つようになってしまいました。東京都の担当者と相談し、左岸(成城)側に水路を掘り、右岸(次大夫堀公園)側の土砂を削ってもらうなどしました。今後も相談しながら見守っていきます。



水路を掘ってもらいました

INFORMATION

冬野川ガサガサ&ごみ拾い

【日時】 2月22日(日)

10:00~11:00 ごみ拾い

11:00~12:00 野川ガサガサ

【持物】 長靴、ゴム手袋、暖かい服装

【集合】 次大夫堀公園築山横の野川階段

訃報

イスラム国に殺害されたとされるジャーナリストの後藤健二さんは、砧中学校の卒業生だったそうです。困難な環境の中で暮らす子ども達に目を向け発信されていました。このようなことがなぜ起きどうしたら解決できるのか、身近な所から考えていきたいと思っています。